

東京理科大学マテリアル人材フェローシップ制度 2022 年度学生募集要項
2022 Recruitment Guidelines,
Fellowship Program for Material Science Researcher,
TOKYO UNIVERSITY of SCIENCE

本制度は、文部科学省科学技術イノベーション創出に向けた大学フェローシップ創設事業を受けて実施するもので、マテリアル分野の研究に意欲的に取り組む博士後期課程及び博士課程の学生を支援し、アカデミアに留まらず広く産業界でイノベーションを引き起こすことができる人材の育成を目的としています。

Tokyo University of Science has established a fellowship project with the support of the Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology to support the doctoral students pursuing research on science and innovations in material science area. We highly prioritizes research, intending to foster excellent researchers who could lead the field in the future.

1. 制度の概要

博士後期課程または博士課程における研究活動、学生生活等を支援し、大学教員等のアカデミアや、公的研究機関、民間企業、起業等の修了後の進路の確保を図ります。

- (1) フェローシップの支給による安定した生活の支援、研究費の助成
- (2) 世代の近いメンターによる研究内容にとどまらない一体的な支援、サポート
- (3) 国際学会等への参加支援により研究成果を発表する機会を確保
- (4) 公的研究機関、企業等でのインターンシップへの派遣、サポート

OUTLINE

We support your research activities and student life, and try to secure the future job like teacher at university, public research institute, private enterprises, or starting a business.

Support:

- (1) living expenses and research expenses
- (2) research consultation by mentors
- (3) participation in international conferences
- (4) internships at public research institutes or companies

2. フェローシップ支給額と対象期間

フェローシップ 支給額	年間 200 万円 研究専念支援金（生活費相当）180 万円と研究費 20 万円
対象期間	2022 年 4 月～2025 年 3 月

※研究専念支援金は課税対象となり、健康保険や扶養の扱いに影響を及ぼすことがあります。

※1 か月ごとに 12 分割した金額を支給しますが、最初の振込については、6 月頃に複数か月分の振込を予定しています。

※活動状況や義務の履行状況等により、期間中であっても支給を停止することがあります。

FELLOWSHIP and PERIOD

Fellowship	2,000,000 yen /a year living expenses: 1,800,000 yen /a year research expenses: 200,000 yen /a year
Period	April 2022 to March 2025

- ※ Living expenses is taxable.
- ※ Living expenses are paid in 12 installments per month. For the first transfer, transfer for multiple months around June
- ※ Depending on the status of activities, payment may be suspended even during the period.

3. 対象期間中の活動、義務

- (1) 国際学会、国際会議等への参加、あるいは国際的な学術雑誌への投稿
研究成果の発表の機会として、年に1回以上を必須とします。渡航費・参加費等をフェローシップとして支給する研究費の他に補助することがあります。
- (2) インターンシップの参加
対象期間中のいずれかの時期に、公的研究機関又は企業等でのインターンシップに参加し、研究に対する社会的な要請や多角的な視点を養う機会とします。
- (3) 講演会の参加
研究活動や学生生活に役立つ講演会や講習会に参加します。
- (4) 報告書の提出
指導教員による指導、及び、メンターとの半期ごとの面談等に基づき、年度ごとに報告書を提出します。これにより、次年度のフェローシップの継続を判断します。
- (5) 後進への還元
本制度を通じた研究活動、学生生活等について学部や修士課程の学生に対しての講話を依頼することがあります。

OBLIGATION

- (1) Participation in international conferences, or submission to international academic journals at least once a year.
-Travel expenses may be provided in addition to the research expenses.
- (2) Participation in research internship once during the period
- (3) Participation in the seminars or workshop
- (4) Submission of report
- (5) Communicating your experience to the younger generation

4. メンターの内諾

学生生活、キャリアパス等の支援や相談に乗ってもらう「メンター」を配置します。指導教員と相談のうえ、助教又はPD等、年齢の近い研究者を候補者として選出し内諾を得てください。メンターには、大学から手当を支給します。

MENTER

"Mentor" supports your research activities, student life and career path.

Select a mentor candidate from researchers of similar ages such as assistant professors or PD, and obtain

his/her consent. The mentor will be provided with an allowance from the university.

5. 応募資格

原則として、以下の (1) ~ (3) を満たす者

(1) 2022年4月に本学の以下の研究科専攻の博士後期課程に入学を予定し、進学先の指導教員の推薦が得られる者。薬学研究科薬学専攻博士課程においては第2学年に進級予定の者とする。いずれもマテリアル分野の研究に取り組む者であること。

- ・理学研究科 物理学専攻、化学専攻、応用物理学専攻
- ・薬学研究科 薬科学専攻、薬学専攻
- ・工学研究科 工業化学専攻、電気工学専攻、機械工学専攻
- ・理工学研究科 物理学専攻、応用生物学専攻、先端化学専攻、
電気工学専攻、機械工学専攻
- ・先進工学研究科 電子システム工学専攻、マテリアル創成工学専攻、
生命システム工学専攻
- ・生命科学研究科 生命科学専攻

(2) 博士後期課程または博士課程での明確な研究計画と、新たな研究を切り開くことに意欲がある者。2022年4月採用の日本学術振興会の特別研究員への申請実績があれば望ましい。

(3) 修士課程において特に優れた業績を上げた者

次に該当する者は申請できません。

- ・日本学術振興会の特別研究員に採用された者
- ・イノベティブ博士人材育成プロジェクトに採用された者
- ・国費外国人留学生制度による支援、もしくは本国からの奨学金等の支援を受けている留学生
- ・給与・役員報酬等の安定的な収入を得ている者

※日本学生支援機構奨学金との併給制限はありませんが、研究専念支援金の受給により、第1種奨学金の貸与資格を満たさなくなる可能性があります。

※研究に支障のない範囲でTA、RA等に従事することは可能です。

※乾坤の真理奨学金 (DS) との併給はできません。

APPLICANT QUALIFICATIONS

The applicant must satisfy the following conditions:

(1) Applicants must schedule to be enrolled in the doctoral course of the following graduate school, Tokyo University of Science in April 2022, and must be engaged in research that involves “material” as the keyword.

※Doctoral students in the Department of Pharmacoscience, Graduate School of Pharmaceutical Sciences shall be advanced to the 2nd grade.

- ・Graduate school of Science; Physics, Chemistry, Applied Physics
- ・Graduate School of Pharmaceutical Sciences; Pharmaceutical Sciences, Pharmacoscience

- Graduate School of Engineering; Industrial Chemistry, Electrical Engineering, Mechanical Engineering
 - Graduate School of Science and Technology; Physics, Applied Biological Science, Pure and Applied Chemistry, Electrical Engineering, Mechanical Engineering
 - Graduate School of Industrial Science and Technology; Applied Electronics, Materials Science and Technology, Biological Science and Technology
 - Graduate School of Biological Sciences; Biological Sciences
- (2) Applicants who have a clear research plan in the doctoral program and are motivated to open up new research.
- (3) Applicants who have made outstanding achievements in the master's program and are motivated to continue to devote themselves to research.

The following students can NOT apply:

- who are in “Research Fellowship for Young Scientists (DC), Japan Society for the Promotion of Science”.
- who are in Support program for “Support for Pioneering Research Initiated by the Next Generation Home” conducted by TUS.
- International students who have received Japanese Government (MEXT) Scholarship or privately funded and scholarships from their home countries.
- who have a regular job.

6. 採用予定人数

10名

NUMBER of APPLICANTS

10 students

7. 申請方法

以下の申請書類を提出してください。

- (1) 申請書(様式A)
- (2) 博士後期課程または博士課程入試で提出した研究計画・業績書の写し
- (3) 日本学術振興会特別研究員の申請書一式とその通知結果[申請した者のみ]

HOW to APPLY

Submit the following documents.

- (1) Application form A
- (2) Research plan / achievements submitted in the entrance examination for the doctoral program
- (3) The appliances and its result notification of “Research Fellowship for Young Scientists (DC), Japan Society for the Promotion of Science”.

8. 申請期限、提出先

2022年3月31日(木)までにメール送信

gakusei-kagura@admin.tus.ac.jp

東京理科大学 学生支援課 マテリアル人材フェローシップ担当

SUBMISSION DEADLINE

Deadline: Until Thursday, March 31, 2022

Destination: gakusei-kagura@admin.tus.ac.jp

Fellowship Program, Student Service Section, TUS

9. 問合せ先 CONTACT INFORMATION

学生支援部学生支援課 マテリアル人材フェローシップ担当

(Student Service Section)

〒162-8601 東京都新宿区神楽坂 1-3

TEL : 03-3260 4271 内線 1483

E-mail : gakusei-kagura@admin.tus.ac.jp

以上
2022.3.9

2022年度 東京理科大学マテリアル人材フェローシップ制度 申請書

年 月 日

東京理科大学長 殿

「東京理科大学マテリアル人材フェローシップ制度」に申請します。

[進学予定先 (大学院博士後期課程)]

研究科	専攻	博士後期課程
現在の学籍番号：	フリガナ：	氏名：
	生年月日：	年 月 日 (満 歳)
指導教員名：		
メンター予定者 (PD・助教等) 氏名：		所属：
役職：		
E-Mail アドレス：		

[研究課題およびマテリアル研究分野との関連性]

研究課題：
マテリアル研究分野との関連性：

確実に連絡のとれる連絡先

〒：
住所：
電話番号または携帯番号：
E-Mail アドレス：

- 日本学術振興会特別研究員(DC1 or DC2)採用に応募し、不採用となったことはありますか？
はい いいえ
「はい」に○印をした場合は、その審査結果のWEB画面の写しと申請書の写しを添付
- 申請について指導教員に確認済ですか？
はい いいえ
- メンター予定者には内諾済ですか？
はい いいえ
- 本制度とは別の「イノベティブ博士人材育成プロジェクト」に申請している方のみ回答
第1希望を○で囲んでください
マテリアル人材フェローシップ制度 イノベティブ博士人材育成プロジェクト

以上

【一般選抜・社会人特別選抜共通】

年 月 日

研究計画・業績書（新入学生用）

研究科

専攻入学予定

氏名

研究題目

1、研究の目的及び計画について

2、1年次における主な研究課題及び具体的な取り組み計画(学会発表等)について

3、2年次以降における主な研究課題及び具体的な取り組み計画(学会発表等)について

4、これまでの研究業績(学部・博士前期課程時の業績を含む)

※社会人特別選抜対象者は記入不要(別添の研究業績一覧を記入してください。)

論文(総説を含む)、著書の場合:掲載学術誌名、論文タイトル、著者名(全員)、巻、最初と最後の頁、発表年月(西暦)
学会の場合:学会名(正式名称と略称を記載)、発表タイトル、著者名(全員)、発表年月日、開催場所、発表形式、受賞の有無等
その他の受賞などがあれば記載してください。

※1 学会発表においては国際学会または国内学会を明記してください。

※2 学術誌への掲載においては国際誌または国内誌を明記し、査読の有無についても記載してください。